

2022年7月の行事予定表

1	金		16	土	
2	土		17	日	礼拝式
3	日	礼拝式、教会役員会	18	月	
4	月		19	火	
5	火		20	水	
6	水		21	木	祈禱会
7	木	祈禱会	22	金	
8	金		23	土	
9	土		24	日	礼拝式、清掃日
10	日	礼拝式、清掃日	25	月	
11	月		26	火	
12	火		27	水	
13	水		28	木	祈禱会
14	木	祈禱会	29	金	
15	金		30	土	
			31	日	礼拝式

7月お誕生・洗礼記念日の皆様、おめでとうございます。

編集後記

- ◇ 今月号は盛りだくさんでお届けします。遠方より原稿をお寄せくださった1姉の記事では、岡山ナザレン教会の歴史と先生ご夫婦の歩みを思い起こさせられます。
- ◇ 永松先生の手術も無事成功し、神様の護りに感謝すると共に、このひと月は、一人一人がキリストの身体をつくる器官であることを改めておぼえさせられた時でもありました。
- ◇ あなたがたはキリストの体であり、また、一人一人はその部分です。(1コリ 12:27) 一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に痛み、一つの部分が尊ばれば、すべての部分が共に喜ぶのです。(26)

教会月報

2022年7月

No.374

岡山ナザレン教会 月報編集委員会

命の尊さ

「主なる神は、土(アダマ)の塵で人(アダモ)を形づくり、その鼻に命の息を吹き入れられた。人はこうして生きる者となった。」
旧約聖書・創世記2章7節

先月28日、ほぼ全国的に梅雨が明けました。最近では異例だそうですね。今年は長い夏を過ごさなければなりません。皆さま、コロナ禍にあって、更に熱中症にも気をつけてお過ごしください。

さて、『伊勢物語』に引かれる最後の歌に、「つひにゆく道とはかねて聞きしかどきのふ今日とは思はざりしを」と在原業平が歌いました。いつか最後に歩む道だとは前から聞いていたが、まさかそれが昨日や今日だとは思ひもしなかったとの意味で歌ったのです。

小生は、5月15日礼拝後の午後、教会堂で失神し救急車で病院に搬送されました。6日間の入院で検査を受け、心臓の病が判明し、やがて手術を受けることとなります。6月15日に心臓カテーテル手術を受け、17日に退院しました。28日に再度心臓の検査を受け、診察において、順調な回復(不整脈がない状態)が確認された次第です。今後2-3か月は静養する予定です。

人間の命は、旧約聖書に記されるように、神の息吹きによって息が吹き込まれ、生きる者となりました。人は、自分の人生を自分のものと考えがちですが、すべては神がご支配されていることを知るべきでしょう。土の塵で造られ、そこに命の元なる息を吹き込まれた神がいらっしゃったのです。人の生は予期せぬことがしばしば襲ってきます。誰も思い通りには描けません。そして、用意もないままに死を迎えることが多いのです。しかし、キリスト者は行き先を先取りしています。それを信じて信仰生活を送るのです。イエス・キリストの復活の命を信じ、神の御国への約束切符を手にして歩むことができます！

牧師 永松 清

子どもの声が戻って来た!

CSが5月29日に再開となりました。再開の希望は、ながらく上がっていましたが、牧師館改修に伴う先生ご夫婦の疲労の回復を待って再開することに役員会で決まりました。ところが15日に先生が倒れ入院。更に6月に手術という知らせが入り、先生にばかり頼ることができない状況になりました。であれば完全な再開は難しくても出来ることを手分けしてやりましょう、という話が22日にあがりました。父兄が中心となり、礼拝前の25分間だけですが、お話しと祈りの時間を持つこととなりました。模索の中のスタートですので、どうぞお祈りください。



CSの奉仕をして

S.M.姉

教会学校が2年ぶりに再開し、子どもの笑い声が聞こえ教会もぱっと明るくなりました。ちょっと前まで、教会学校はどうなるのかと心配していましたが、D姉妹、F兄弟姉妹、Y姉妹のご協力あって再開することが出来ました。

1週目はD姉妹が奉仕して下さり、2週目は私の番でした。今までCSで奉仕したことがなかった私が、さて出来るのだろうか、不安な気持ちもありました。でも、小さい人でもわかる紙芝居だったら良いかもしれないと、息子と作りました。中学生になった次男のRは、中学へ入ったらもう教会学校は行かないと言っていたんですが、紙芝居読むぐらいなら手伝うよと強力な助っ人を得ることが出来、心強かったです。

当日もしっかり紙芝居を読んでくれ、小さい方にも御心が届いたと思います。これは全て主の導き、母が奮起すると子も奮起する。子どもと一緒にもっといっぱい聖書のことについて学びたいと思います。

Fご一家にも、感謝です。信仰篤く、CSのお話はなるほど!と親も勉強になります。それぞれのスタイルで、共に学び合えたらCSの未来も明るいと思います。

これから夏休み クリスマスと楽しいイベントもあるので、教会の子どもたちが沢山集まって欲しいです。



5月29日奨励要旨

S.K.兄

『日毎の糧』に感じる想い ヘブライ11:17-19
『日毎の糧』が毎週の週報に載っています。

日ごろ気にはしていなかったのですが、2021年6月から目に留まって気にして見る様になりました。毎週ではなく、毎日一日一つのみ言葉が載っているのが凄いことだと気づきました。その後、週報を見るのが楽しみになっていました。

「イエスの輝き」というタイトルの週からわたしの書写が始まりました。以前は日毎の糧を見ても何とも思わなかったのですが、筆が進むと次の聖句が書きたくて牧師先生に催促するようにまですべて書いています。

私が中学の時の恩師の国語の教師が書くことの重要性を説き、書写を勧められました。この恩師がいなければこの場で話す機会も無かったと思います。

聖句を見にくくなりつな目を読み、それを書き取り、それをまた自分で読み返すことでおおよそ10回は同じ箇所読んでいます。それによって理解が深まってきた気がします。可能な方は、ぜひ私と同じようにやってみてください。おすすめします。

神さまの言葉は永遠に変わることはありません。今日の奨励というご奉仕によって皆様の信仰に多少なりともお役に立てたらとお祈り申し上げます。



映画案内

われ弱ければ 矢嶋楯子伝



原作 三浦 綾子
監督 山田 火砂子
主演 常磐 貴子

矢嶋楯子(やじま かじこ)とは。

~去年のNHK大河ドラマ「青天を衝け」が渋沢栄一によって幕末以降の日本が変革をとげた、言わば「男性目線での近代化」を見せたのに対して、この映画の主人公・矢嶋楯子(やじま かじこ)は、男尊女卑が根深かった幕末から明治の世、熊本の旧家に生まれた身として「女性目線での近代化~女性の地位向上」に献身したと言えます。その情熱の土台は、いつも、キリスト信仰でした。

今では当たり前で疑問すら抱かない“女子も教育を受けられること”、“一夫一婦制”、“婦人参政権”などの実現に力を注いだ矢嶋楯子の生涯が、あの三浦綾子によって描かれ、このたび映画化されたのです。(更に詳しい記事は8月号に載ります。)

教会でも前売り券を扱っています。ぜひ、ご覧下さい。会場は以下の通りです
岡山天神山プラザホール 日時: 8月27日(土) 10:30, 14:00, 18:00
倉敷公民館大ホール 日時: 8月28日(日) 10:30, 13:30,

※前売り券: 1,200円(当教会教育部ほかで取扱い中) 当日券: 1,500円

※公式サイト: 映画「われ弱ければ-矢嶋楯子伝」

<https://www.gendaipro.jp/yajimakajiko/>

N姉記念会

6月12日(日)に故F.N.姉の記念会が礼拝後行われました。N兄とお嬢さんも礼拝から参加され、教会員と共に故人を偲びました。



永松牧師赴任当時の思い出

M.I.姉

永松先生ご夫妻が岡山に来られたのは、Sくんが1年生くらいの時でした。我が家の子どもたちが同年代だったので、「Sちゃん」は我が家に泊まりにきたり、長男は牧師先生(Sちゃんのお父さん)に釣りに連れて行ってもらったり、公務員宿舎の子供達が大勢教会学校に集まりにぎやかでした。

そのSくんがもう40歳代半ば。40年という長い岡山ナザレン教会の牧会のご労苦を思うとき、感慨深いものがあります。

働き盛りの信徒さんたちが、教会を支え、祈り、奉仕してこられました。その方たちが晩年を迎え、老いや病いと向き合うようになられた時、牧師夫妻は一人一人を愛し、支え、最後まで魂のみとりをなし、天に送ってこられました。

信長求・てつ香兄姉、松本利孝・信子兄姉、謙吾兄、小林春姉、十川姉、巡一兄、景山姉、丹治姉、藤原千代子姉、原姉、原敬夫兄・敬子姉、……。ちょっと思い出だけでも、それぞれの方の晩年のエピソードを思い、牧師ご夫妻に感謝はつきません。

海外からの留学生の家族や、心に病をかかえた学生さんなどの具体的な生活支援にも労をいとわず働かれました。

御言葉の解き明かしにより、横山師や大月師という献身者を生み出し支えてこられました。また、I兄姉やD兄姉など海外医療に携わる方々をおくりだしてこられました。

我が家については、次男の結婚式もしていただきました。最近では私が体調をくずして入院したときに、日曜礼拝の後、車で鳥取の米子の病院までかけつけ、祈ってくださったことは忘れません。長女は叔子先生に、「のんちゃん、のんちゃん」とかわいがっていただきました。

先生奥様共々、最後の一年をどうぞご自愛くださってお過ごしください。

(原稿依頼を快諾し遠方よりお送りくださいました。編集部)